

堤防決壊シミュレーションの実施

河川管理レポート(H30.6.25)
沼津河川国道事務所

近年、河川整備が進み、堤防決壊という事態の頻度が少なくなっており、堤防決壊時の対応を経験した職員が少なくなっていることから、全国の河川系事務所にて平成19年度より堤防決壊シミュレーションを実施しています。今年度沼津河川国道事務所では、狩野川のある地点の堤防が浸食したことを想定したシミュレーションを、6月25日に実施しました。2班に分かれて、浸食した箇所への復旧方法や資材の搬入方法、情報発信の方法、テックフォースの受け入れ時の問題点等を討議し、各班毎に発表を行いました。このシミュレーションを通じて、堤防決壊時の職員の対応力の向上を図りました。

